

法 務 委 員 会

委員一覧 (21名)

委員長	若松	謙維 (公明)	北村	経夫 (自民)	福島	みずほ (立憲)
理 事	古庄	玄知 (自民)	山東	昭子 (自民)	谷合	正明 (公明)
理 事	宮崎	雅夫 (自民)	田中	昌史 (自民)	嘉田	由紀子 (維新)
理 事	田島	麻衣子 (立憲)	福岡	資麿 (自民)	仁比	聡平 (共産)
理 事	矢倉	克夫 (公明)	森	まさこ (自民)	鈴木	宗男 (無)
理 事	川合	孝典 (民主)	山崎	正昭 (自民)	関口	昌一 (無)
	岡田	直樹 (自民)	打越	さく良 (立憲)	長浜	博行 (無)
						(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第116回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出2件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願2種類2件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

裁判官の報酬等に関する法律の一部を改正する法律案及び検察官の俸給等に関する法律の一部を改正する法律案は、一般の政府職員の給与改定に伴い、裁判官の報酬月額及び検察官の俸給月額の改定を行おうとするものである。

委員会においては、両法律案を一括して議題とし、裁判官及び検察官の人材確保のための方策、裁判官及び検察官の諸手当の在り方、裁判官の勤務実態及び処遇改善の必要性等について質疑が行われ、順次採決の結果、両法律案はいずれも全会一致をもって可決された。

〔国政調査〕

12月19日、法務及び司法行政等に関する質疑を行い、証拠のねつ造が発生する等組織の劣化が指摘される検察庁の改革に対する法務大臣の意欲、法務省入国管理局作成の報告書が我が国のクルド人を出稼ぎと断定したという事実の有無、家族の法制に関する世論調査の選択的夫婦別氏制度についての設問が大きく変化した経緯、日本国籍を有しない者を調停委員に任命することについての最高裁の見解、性的指向及び性自認に関する問題並びに同性婚に対する法務大臣の認識、子の居所の指定に関する諸外国の法制度の内容、特定技能2号の在留資格の取得に必要な要件を現場の実情に即した内容とする必要性、袴田事件無罪判決に対する検事総長談話に関する法務大臣の認識、検察官に対する法務大臣の指揮監督権に関する法務大臣の答弁内容の正確性等が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○令和6年12月10日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 法務及び司法行政等に関する調査を行うことを決定した。

○令和6年12月17日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 裁判官の報酬等に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)
検察官の俸給等に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第8号)(衆議院送付)

以上両案について鈴木法務大臣から趣旨説明を聴き、同大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

打越さく良君(立憲)、嘉田由紀子君(維新)、川合孝典君(民主)、仁比聡平君(共産)、鈴木宗男君(無)

(閣法第7号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無(鈴木宗男君)

反対会派 なし

欠席会派 無(関口昌一君、長浜博行君)

(閣法第8号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無(鈴木宗男君)

反対会派 なし

欠席会派 無(関口昌一君、長浜博行君)

○令和6年12月19日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 袴田事件再審公判に関する件、選択的夫婦別氏制度に関する件、調停委員の任命に関する件、保護司制度に関する件、LGBT施策に関する件、一方の親による子の連れ去りに関する件、技能実習制度に関する件、法務大臣の指揮権に関する件等について鈴木法務大臣、友納内閣府大臣政務官、安藤厚生労働大臣政務官、東財務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

古庄玄知君(自民)、福島みずほ君(立憲)、田島麻衣子君(立憲)、矢倉克夫君(公明)、谷合正明君(公明)、嘉田由紀子君(維新)、川合孝典君(民主)、仁比聡平君(共産)、鈴木宗男君(無)

○令和6年12月24日(火) (第4回)

- 請願第59号外1件を審査した。
- 法務及び司法行政等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。